

国民文化祭の開会式を終えられ、朱鷺メッセからオークラホテル新潟に向かわれる天皇皇后両陛下を秣川岸通にて日の丸小旗で奉迎



① 皇統は万世一系

日本会議新潟県本部理事長 佐藤日出夫氏
(天皇陛下御即位新潟県奉祝委員会 運営委員長)

天皇陛下が御即位され、令和の御代が始まりました。神武天皇から今上天皇に至る百二十六代の皇統はすべて「男系」によって継承され、例外はありません。これは厳粛な事実です。皇統と云う言葉はそれ自体が「男系」を意味し、「男系」の血統が二千年以上、百二十六代に亘って一貫して継承されて来たがゆえに皇統は「万世一系」とであると云われるのです。



この「男系継承」こそ天皇制度の核心であり、皇室の権威の源泉であります。皇室典範第一条に「皇位は皇統に属する男系の男子がこれを継承する」と明確に示されています。この皇位の伝統こそは、不易の伝統です。法の中の法であり永久不変の真理です。不変常典（かわるまじきつねののり）を敬意をもって、未来永劫の子々孫々にわたって遵守し続け継承していくことこそ、日本国民に与えられた唯一最大の使命です。

加えるに、第十二条において、「皇族女子は皇族以外の者と婚姻した時は皇族の身分を離れること。」第九条において「天皇及び皇族は養子をする事はできない。」ことが定められています。皇統の乱れを未然に防ぐ為です。これによって皇位は男系男子によって永遠に万世に亘って継承されて行くこととなります。

皇位継承の安定のために急がれることは、終戦直後に皇族離脱を余儀なくされた旧宮家の皇族復帰です。これ以外に皇位継承の安定の道は皆無であることを知って、女性天皇・女性宮家などは決して認めてはならないのです。

今、日本会議に与えられた使命は大きく、天皇陛下の皇位継承を寿ぐとともに、万世一系の皇統の永遠のために一身を擲って仕え奉ろうではないか！

そこにこそ、魂の打ち震えるような感激が湧き出づることを確信いたします。

② 日の丸奉祝パレードに参加して

新潟支部会員 長谷川敦子氏(女史会メンバー)

「天皇陛下万歳」と叫び、日の丸を振って行列に参加した。その声に心を乗せ繰り返し熱いものが込み上げてくる、涙だ。恥ずかしいので止めた。いつもテレビで見るのとは大違い、参加してこそ感じられる幸せ。私にも日本人の先祖の血が流れている。それが喜びを発信してくれる。大丈夫、皇室が安泰であれば日本国は大丈夫。どの権力者も潰せなかった皇室、そこには利己は無く大御心のみ。民はそこに神を見た。



運営スタッフとして奉祝行事に参加した女史会メンバー



③ 提灯奉迎行事に参加して

新潟支部理事 寺澤要子氏(女史会メンバー)

今回の奉迎行事への参加は、私の人生、最初で最後の機会として喜んでいて。配られた提灯は文字無しであった中、「奉迎」の文字が書かれた提灯を振る人を発見。

5年前か10年前の奉迎行事で使った物らしい。大切に保管されていた提灯に感動し、私も大切にしようと喚起された。